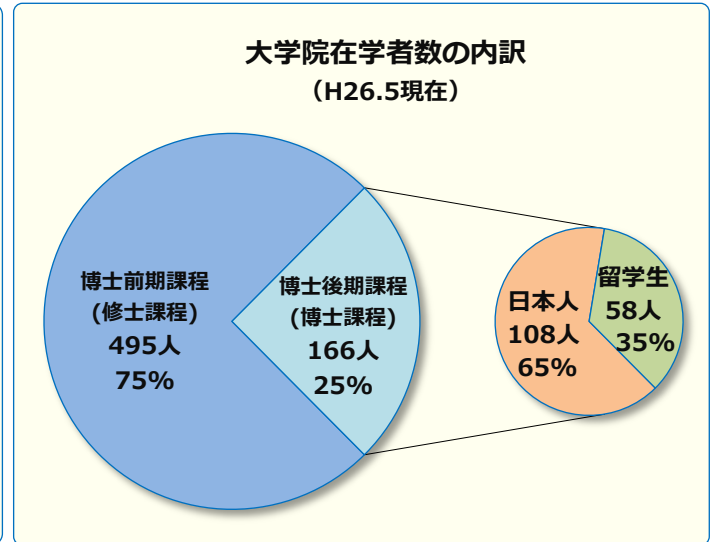


長期インターンシップのご紹介

企業で活躍したい博士人材をご支援ください

東京海洋大学は博士人材のキャリア開発事業に取り組んでいます



- 東京海洋大学の大学院の専門分野は多岐に渡ります
- 大学生の1/3が大学院に進学し、その1/5が博士課程に進学しています
- 博士課程の1/3が外国人留学生です
- 博士課程の約40%は女子学生です

社員の新しいキャリアパスとして博士人材を検討してみませんか？

- 博士号保持者は大きな可能性を持った優秀な人材です
 - グローバル化に伴う外国人社員の採用に際しても最適な人材です
- 語学に堪能で現地の文化や市場を熟知しており、国立大学で博士号を取得した留学生の採用を検討してみませんか。
- 人柄と働きぶりを実際に「見て・試す機会」が長期インターンシップです



キャリア開発室が博士人材の育成を全面支援しています

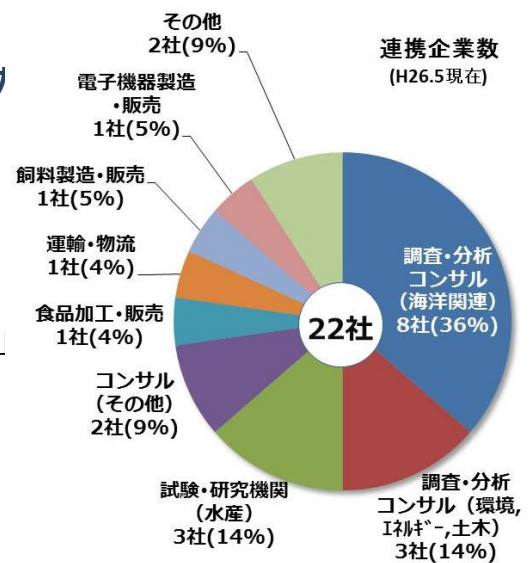
- **高度専門キャリア形成論**
各界の第一線で活躍する方々をお招きして、実際のビジネスについてご講演いただくことで、自分の専門とは異なる様々な知識やスキルを直接学ぶことができます。
- **長期インターンシップ**
企業・研究機関様で実際に就業体験することで、社会的な視野が広がり、自分の専門性が社会にどう貢献できるかを実践で知ることができます。
- **キャリア相談**
様々な理由でキャリア形成が遅れたり、将来に不安を感じている学生やポスドクを早期支援することで、進路選択が主体的にできるようになることが期待できます。



長期インターンシップで人柄と能力を見てみませんか？

受入企業の担当者様からは、「博士に対する意識が変わった」と多数の声が寄せられています。

- **博士人材の採用には一定の距離をおいていたが …**
「視野が狭く、コミュニケーションに欠けるのではないか」
「博士人材は専門性に拘り過ぎるのではないかという先入観があった」
- **実際に研修生を受け入れてみて全く違うということを認識した**
「博士が大学で培った先端的技术は、企業にも非常に刺激的であった」
「想像以上に協調性があり、博士のイメージが大きく変わった」
「今後も継続して長期インターンシップの研修生を受け入れたい」
- **大学が社会人マナーやビジネスマナーを事前に指導してくれ**
「講義・ワークショップやセミナーは企業にとっても魅力的」
「今後は博士人材の育成に積極的に協力したい」
- **企業はグローバルに活躍できる人材を求めている**
「留学生も含めて長期インターンシップに協力したい」
「高い能力を持ち、国際的な場で働ける人材をぜひ輩出して欲しい」

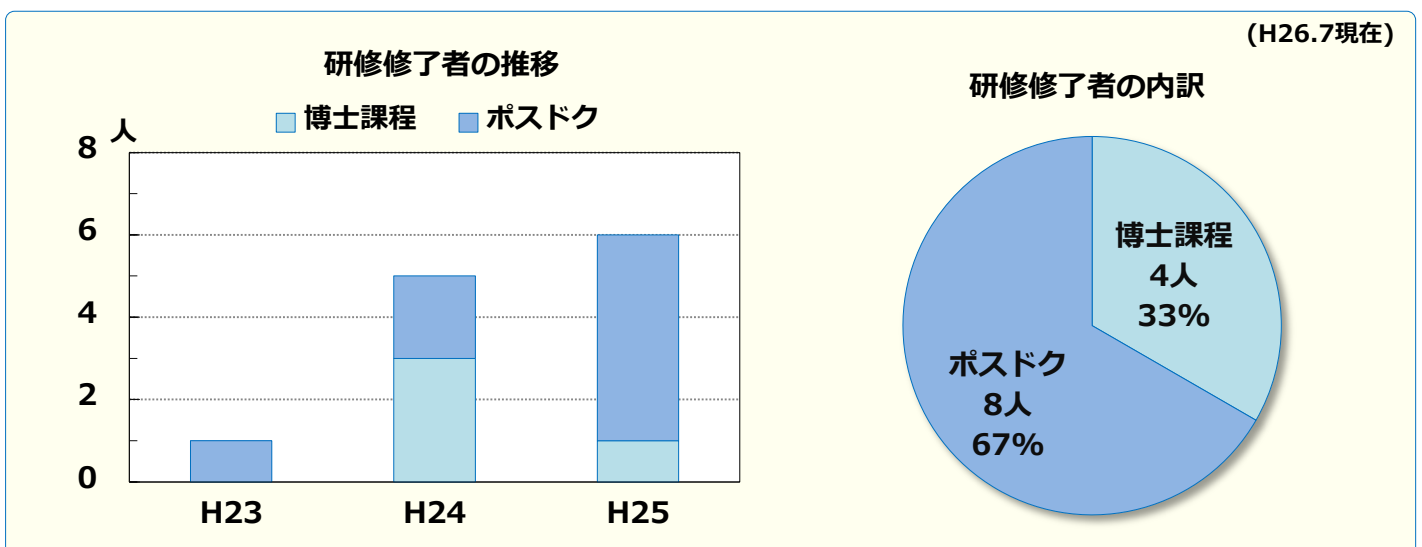


長期インターンシップの概要

- **受入企業様の状況に応じて個別の打ち合わせで決定します**
 - * 給与(ポスドクのみ)と交通費は大学が支給します
 - * 遠隔地で就業する場合には往復の交通費が大学から支給されます
 - * 海外での研修も可能です
 - * 3箇月の研修期間を分割して実施することや就業条件等にも柔軟な対応が可能です
 - ※ 詳細については、キャリア開発室までお問い合わせください。

長期インターンシップの実績

- **事業開始から着実に研修希望者が増えています**



長期インターンシップの事例

● 事例のご紹介

キャリア開発室の特任教授と担当者が、研修生と企業様の間に立って、交渉や事務手続等の全般に対応しています。

	事例①:Aさん 【ポスドク・留学生・男性】	事例②:Bさん 【博士課程1年・男性】
	<p>日本で就職を希望</p> <p>かねてから、自分の専門分野を活かした開発者として企業で働きたいと考えていた。</p>	<p>自分に足りないものが見えてくると思った</p> <p>体験談を聞いたことがキッカケで、長期インターンシップへの参加を決意した。</p>
初回相談	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導教員経由でキャリア開発室に紹介があった ● 長期インターンシップで実際の働きぶりを見て欲しい ● 企業に就職したいという強い意志が感じられた 	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究を続けるか、民間企業に就職するかを迷っていた ● 研究に遅れが出るのではないかな等の不安もあった ● 指導教員は、研修への参加を快諾してくれた
研修先決定	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人の専門、性格、希望等を良く理解して絞込み ● 外国籍で就職希望であること等も慎重に考慮した ● 並行してAさんと数回のキャリア面談を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人の専門、性格、希望等を良く理解して選定 ● 候補3社からY社に絞り込んで面接を受けてもらった
事前講習	<ul style="list-style-type: none"> ● 特任教授が資料を使って事前講習を実施 ● 研修中の事務手続や働き方等の心配事は、この時点で解消できるように配慮している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特任教授が資料を使って事前講習を実施 ● 研修中の事務手続や働き方等の心配事は、この時点で解消できるように配慮している
研修	<ul style="list-style-type: none"> ● Aさんには大学から給与と通勤費が支給されている ● 研修中もAさんとX社を毎月訪問して進捗を確認した ● 研修後は正式採用したいとの回答があった ● X社の海外展開や採用計画と合致したらしい ● 研修は順調に進捗し、受入部署での評判も良く、高い評価を得ていた ● 本人も「希望に沿った仕事内容であり、やりがいあって面白い」と話していた 	<ul style="list-style-type: none"> ● Bさんには、大学から通勤費が支給された ● 資料やプログラムの作成、実験の手伝い等で能力を活かすことができた ● 更に創造的な仕事へと意欲が湧いてきた ● もっと学ぶことが沢山あり、3か月は短く感じられた ● 大学と企業の連携で更に仕事の効率が上がると思った
面談	<ul style="list-style-type: none"> ● 入社的心構えや正社員として働いていくための基礎知識等について相談があり対応した ● この時点で次第にキャリア開発室の手を離れて行った ● 入社後も何かあればいつでも相談して欲しいと伝えた 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今は研究を最優先にして博士を取得したいが、企業への就職願望が更に強くなった ● 現在も研修先で時々アルバイトをしている ● 毎年、入社を誘われるのはとても光栄と感じている ● 研修終了後もキャリア相談を継続している

研修を修了した博士たちの共通した生の声

● 様々な考え方や仕事に対する姿勢を肌で体験できた

「専門知識も然る事ながら、その応用力も求められることが多かった」

「社会に出て仕事をするためには、自分に何が不足しているかを具体的に実感した」

「企業においても、自分の知識や経験を活かせることが分かった」

● 企業での就業は、これまでのイメージとは異なることに驚かされた

- * 限られた時間内に業務をこなすスピード感
- * 情報を正しく伝達し、共有できるコミュニケーション能力
- * 社員の熱意と妥協しない強い意志

● 顧客が何を望んでいるかを理解しなければ、価値のある問題解決には なりえないことを学び、顧客目線で考えることの大切さを痛感した

● 企業に対するイメージが大きく変わり、研究職だけでなく企業への就職も選択肢として考えるようになった

「今後のキャリアパスを見据え、専門分野に囚われない広い視野と知識を得ることを常に意識するようになった」

「自分の知識・認識に偏りが生じていることが確認できた。今後は、幅広い分野の情報も積極的に収集して能力とスキルを磨きたい」

「研究で培ってきたものを忘れず、社会で求められる能力を磨き続けたい」



キャリア開発室の広報活動のご紹介（ホームページ、ニュースレター等）

- ホームページから詳細をご覧になれます
www.kaiyodaicareer.com/
- ニュースレター（隔月）で講義のハイライト等を読むことができます
- 各種のパンフレットやリーフレットをダウンロードできます

※ ご意見・ご質問等は、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

The image shows a screenshot of the website <http://www.kaiyodaicareer.com/> with several promotional materials overlaid. The website header includes the university name and navigation links. The main content area features a section for '長期インターンシップ' (Long-term Internship) with a 'GO' button and a description: '企業で3か月働けば、今まで見えてこなかったことが見えてくる'. Below this is a '新着情報' (What's new) section with a table of recent news items.

Category	Date	Content
採択校情報	2014.08.26	イノベーション創出セミナーのお知らせ (三重大学)
講義・ワークショップ	2014.08.12	第6回「高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」が開催されます (H26年度)
お知らせ	2014.07.22	Newsletter 6-7月号を発行しました (H26年度)
採択校情報	2014.07.16	キャリアバスシンポジウムのお知らせ (名古屋大学)
講義・ワークショップ	2014.07.15	第5回「高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」の講義報告です (H26年度)
採択校情報	2014.07.07	H26年度第1回発表会のお知らせ (広島大学)
採択校情報	2014.07.03	ポスドク・博士課程大学院生のための講演会のお知らせ (岡山大学)
講義・ワークショップ	2014.06.24	第4回「高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」の講義報告です (H26年度)
講義・ワークショップ	2014.06.24	第5回「高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」が開催されます (H26年度)
お知らせ	2014.06.09	Newsletter 4-5月号を発行しました (H26年度)

Overlaid materials include: '12ヶ月企業研修' (12-month corporate training), '企業家への' (For entrepreneurs), 'あなたへ' (To you), '水産館で何が' (What at the Marine Museum), '海洋産' (Marine products), '企業人にも' (For business people), '企業家への' (For entrepreneurs), 'Newsleter' (Newsletter), and 'キャリア開発室' (Career Development Office).

博士人材のキャリア開発

海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

【お問い合わせ先】

国立大学法人 東京海洋大学
キャリア開発室

電話 : 03-5463-0575

Email : career@m.kaiyodai.ac.jp

HP : <http://www.kaiyodaicareer.com/>

